

生活保護引き下げのトリックは見破られた!

～「社会保障生計調査」を隠すのは誰?～

現在、生活保護基準を大幅引下げする内容の平成25年度予算案が国会で審議されています。

実は、厚生労働省には、「社会保障生計調査」という生活保護世帯の消費データがあるのに、一般世帯の消費データを元にした「生活扶助相当CPI」なる数値を使い、物価下落幅の大きい電化製品の支出割合が増幅された結果、大幅引下げが導かれたことが判明しました。

予算委員会で、田村厚生労働大臣は、「社会保障生計調査」のデータの開示を言を左右にして拒否しています。

興味のある方は、4月12日衆議院予算委員会第5分科会の長妻議員の質疑と山田准教授の調査結果をご覧ください。

http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=42653&media_type=fp
<http://seikatuhogotaisakublog.fc2.com/blog-entry-115.html>



間違ったデータをもとにした不正な計算で、生存権保障の基準が下げられたのでは、たまったものではありません。

私たちの怒りの声を
政権・国会に届けましょう!

〈開催案内〉

日時 2013年4月25日(木) 16:00~18:00

場所 衆議院第1議員会館 多目的ホール

■基調講演■

“アベノミクス”で
弱者はどうなる?

荻原博子さん
(経済ジャーナリスト)

■基調報告■

『生活扶助相当CPI』
を検証する

みわよしこさん
(フリーライター)

- ミニ報告「モデル世帯に見る生活保護基準引き下げの影響」小久保哲郎(弁護士)
- 影響をうける当事者の方々の声

ワークショップ: メッセージカードを書こう、そして、私たちの声を国に届けよう!

【司会進行】 雨宮処凛(作家)、稲葉剛(NPO法人自立生活サポートセンター・もやい)



当日、15:45から上記1階ロビーで通行証を配布します。定員は300名です。これを超すと、中に入れません。多くの方に参加していただくため、会場は椅子席のみです。あらかじめ、ご了承下さい。

【主催】「STOP! 生活保護基準引き下げ」アクション <http://nationalminimum.xrea.jp/>

連絡先 530-0047大阪市北区西天満3-14-16西天満パ-ル3号館7階 あかり法律事務所 弁護士小久保哲郎(☎06-6363-3310)